※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（株式会社ホンダモビリティ北関東 Honda Cars 松本中央）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得証証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント研修の実施している。 ・ハラスメント相談窓口の設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な雇用の機会や労働環境の整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・労使で安全衛生委員会（毎月）を実施し、内容を社内通達、WEB共有サーバー等を活用し周知徹底を行っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する職場の状況把握を含めた調査を全社員に年一回実施している。 ・メンタルヘルスに対応した休職規程等の整備を行っている。 ・社内野球チームやN-ONEワンメークレースへの参加で社内コミュニケーションを促進している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている。 ・一般事業主行動計画に基づき、子育てや介護等と仕事を両立できる職場環境整備を図っている。（例 短時間勤務制度）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた研修体系の整備と実施している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・年一回の健康診断を全社員に実施している。 ・インフルエンザワクチン接種を全従業員に実施を促し金額補助をしている。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物処理・マニフェスト管理・処理を、適切に契約業にて遂行している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・環境家計簿システム環境実績入力（電気・LPG）において、エネルギー量の把握、省エネ診断、計画策定進捗を推進している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・試乗車、社用車、代車等を低公害な最新車両へ積極的に入替えを行い、CO2削減し温室効果排出ガス削減に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・有害化学物質アセスメントで法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得証証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・フロンガスの回収、再利用し環境保全に対して法令に従い配慮している。 ・廃油、廃バッテリー、廃タイヤを適切に処理処分し環境保全、生物多様性や生態系への配慮している。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・お客様の希望に沿ったリサイクルパーツを使った自動車修理と再生パーツへの資源提供を実施している。 ・ビニール・プラスチックゴミ削減に向け、カタログ入れ紙袋化を行っている												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・環境家計簿システム環境実績入力において、省エネ診断、計画策定進捗を管理・改善している。 ・節水型自動車洗車機の導入している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・環境家計簿システム環境実績入力において、省エネ診断、計画策定進捗を管理・改善している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・自社環境の取組に関する情報を、自社ホームページにて開示している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・太陽光発電パネル設置拠点を設置している。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・クラウドを使ったWEB報告・社内申請を推進し、ペーパーレス化を実現している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・毎朝礼での『ホンダ行動規範』読み上げ、汚職・贈収賄防止を全社員への周知徹底を励行している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・毎朝礼での『ホンダ行動規範』読み上げ、自由競争を全社員への周知徹底を励行している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・ホームページの自社ブログを日々監視して、知的財産の無断使用防止を実施している。 ・お客様へのサービス提供における該当抵触製品の使用防止を喚起し、保護を促進している								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・『プライバシーポリシー』にて公表し、体制整備・更新を実施している。 ・e-ラーニングにて全社員に教育している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		社内で定期監査を行っており、その際に動産の現物確認を行っている																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・請負業者の責任者に向け、人権侵害の防止と法令遵守への要請を喚起している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携と親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行の遵守が重要であることを認識しており、今後取組予定			3					8	9	10							17

		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得証証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・新製品や新サービスはWebによる研修を受講させ、商品知識と取扱いの早期習熟を行っている。 ・納車説明にてお客様の既得権を明確に説明している。 ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書の重要項目の説明している。			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応(お客様相談室)など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための基本方針･体制･ルールの策定している。 ・満足度調査のご案内と、ご協力のご理解への説明を嫉視している。									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・本田技研工業(株)と連携し、省エネルギー製品の市場品質情報をフィードバックしている。						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・ペーパーレス化を促進し環境問題を意識した業務を推進している。 ・試乗車へドライブレコーダーを装備して「あおり運転」や「車上荒らし」への効能をPRしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・残業時間の削減と予定管理の改善にて、夜間照明･騒音を削減している。 ・近隣歩道等の定期的な清掃活動の実施で貢献している。 ・自動車販売会社として安全運転への全社員教育を行い資格修了をしている。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・社内福祉カンパにて、毎年の福祉寄贈を労働組合を通じて実施している。 ・未就学児･高齢者に向けた交通安全教室を全店舗で開催している。 ・定期的に店舗周辺の清掃活動を全店舗行っている。				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			各店舗のイベント開催の際、地域で生産された食材や製品を近成約プレゼントをして使用している 出川店･･長野県産米 石芝店･･･近隣菓子店								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化し、各営業所にて掲示し周知している。								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・毎朝礼での『ホンダ行動規範』読み上げ、法令遵守を全社員への周知徹底を励行している。																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・社内組織(組織図)と役責が明確になっており、各部門間で共有し対応している。																16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握、適切に対応している。																16	17
40	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・リスクに対し、本部の指導を受けながら、各リスクへの対応やBCPを制定している。 ・年間2回の社内監査にて、各リスクへの指摘と改善にて構築を実施している。																16	
41	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・地球環境の保全を最重要課題のひとつと捉え、自動車の販売･整備を通じて、人の健康の維持と地球環境の保全に積極的に努めている。 ・CO2排出量前年比2%削減を目標とする。																16	
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・リスクに対し、本部の指導を受けながら、各リスクへの対応やBCPを制定している。 ・年間2回の社内監査にて、各リスクへの指摘と改善にて構築を実施している。 ・抜き打ちで従業員安否確認を実施し、確認率と経過時間に課題と対策を実施している。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・株主と当社取締役にて検討･対策を行って事業継承している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定